

第21回

# 日本観光研究学会 全国大会 学術論文集

Proceedings of JITR Annual Conference

2006年12月

## 目次

---

### 第1会場

1. デジタルコンテンツによる学びの“場”の創造 1  
-観光教育をめぐる関連知識の会話式教材の検討-  
大谷 新太郎・野口 洋平・丹治 朋子・村上 和夫
2. 観光研究教育アーカイブのオブジェクト指向情報管理について 5  
益田 誠也・村上 和夫・北地 祐幸・安島 博幸
3. 海外における観光教育機関に関する基礎的研究(アジア・豪州編) 9  
朝倉 はるみ・梅川 智也
4. 「総合的な学習の時間」における観光教育のカリキュラム研究 13  
-高等学校を事例に-  
穴戸 学
5. 「着地型観光」と地域再生 17  
小松原 尚
6. 着地型観光の地域定着を目指した持続的サイクルに関する考察 21  
高田 剛司
7. 地域と宿泊施設のインテグレーションに関する研究 25  
-ニセコ地域のインバウンドを視点として-  
千葉 里美
8. 着地型観光の発生起源と観光まちづくり 29  
尾家 建生
9. 奈良県の着地型旅行商品造成とその課題 33  
国枝 よしみ
10. 自己組織化マップによるホスピタリティ情報の分析 37  
-都道府県のバーティカル・ポータルにおける観光情報の可視化-  
朴 在徳・原 辰彦
11. 観光まちづくり学習プログラムにおける電子掲示板の 41  
実験的運用に関する一考察  
富澤 浩樹・大西 律子

12. 加賀市観光周遊バスを活用した観光情報提供システムの構築 吉田 健吾・新保 達也・木村 春彦・岡田 基義	45
13. 中国における「八景」に関する研究-源流と変容- 潘 丹	49
14. 東京を訪れる中国人観光者訪問先の空間分析 杜 国慶・劉 慧	53
15. 中国雲南省麗江市における着地型観光の現状と課題 清水 苗穂子	57

## 第2会場

16. 観光を学ぶ学生の旅行経験と生活志向 中村 哲・古本 泰之・穴戸 学	61
17. 「楽しさ」としての観光経験の表象に関する考察 -「観光オタク」が創るウェブサイトを事例として- 井上 努	65
18. 観光における体験の類型とその研究動向 許 文卿	69
19. 「みやげ話」における噺の生成について 村上 和夫	73
20. 越境観光のための二国間協力 -エメラルド・トライアングル地域におけるタイとラオスの事例- 桑原 浩	77
21. 持続可能な観光論 -歴史・理論・戦略- 九里 徳泰・小林 裕和	81
22. 観光立国と鎖国について 井上 泰日子	85
23. 途上国に於ける日本農村女性起業活動の応用の可能性 -パラオのエコツーリズム開発の事例- 畠田 展行	89
24. エコツーリズムにおける自然資源管理の制度に 関する研究:小笠原を事例として 山崎 麻里	93
25. オホーツク地域における観光経済効果に関する考察 仲村 篤・大谷 健太郎	97

26. 山村における観光の実態と諸課題 -福島県檜枝岐村を事例にして- 山田 耕生	101
27. 重要伝統的建造物群保存地区における過疎・高齢化の 実態と観光地化との関係性-長野県白馬村青鬼集落を事例として- 福永 香織	105
28. 旅行商品造成における「標準化」と「差異化」 -ベトナム北部・ハノイ発ツアーの事例から- 鈴木 涼太郎	109
29. 募集型企画旅行における京都観光の考察 廣岡 裕一	113
30. 商店街の存在意義と観光による活性化に関する研究 -京都市伏見の竜馬通り商店街を事例に- 中井 郷之	117

### 第3会場

31. 観光振興における空港の役割 味水 佑毅・鎌田 裕美	121
32. 観光による地域の活性化と空港・航空会社の戦略 -日本の最近の新空港を事例として- 永井 孝充	125
33. 交通施設の整備が観光地の盛衰へ及ぼす影響 李 根熙・安島 博幸	129
34. 路面電車の観光活用に関する研究 正木 聡	133
35. 国際会議開催においての地域愛着度と地域民の態度に関する研究 張 喜貞・孫 大鉉・趙 惠静	137
36. 世界遺産登録に対する住民の意向について -鹿児島県屋久島を事例として- 柴崎 茂光・柘植隆宏・土屋 俊幸・永田 信	141
37. ホテル企業においての規模の経済と相対的効率性分析 金 大来・張 喜貞・周 修鉉	145
38. ゴルフ場理解関係者間協力に関する研究 -茂朱観光レジャー都市を中心に- 金 兌泳・高 眞淑・SEO Yongseok	149

39. 観光幻想と観光地住民のリアリティ -北九州門司港レトロ地区住民の意識調査から- 須藤 廣	153
40. ドイツのハルツ地方におけるヘリテージ・インタープリテーション制度 西山 隆士	157
41. ドイツの農村における地域振興策と観光振興 富川 久美子	161
42. ツーリズムによる地域の再活性化 -大分県豊後高田市「昭和の町」- 川島 千明	165
43. 視対象及び視点場として捉えた赤城山の眺望に関する研究 丹羽 大樹・小林 享	169
44. 絵画・写真データより読み取る窓・開口部の景観的効果に関する研究 内海 恵・小林 享	173
45. 山形県銀山温泉における景観と空間の特徴に関する研究 田代 展子・堀 繁	177

#### 第4会場

46. 「観光まちづくり」についての研究 -加賀市大聖寺地区における住民意識調査を通して- 佐々木 真理子	181
47. 「観光まちづくり」教育の役割と課題に関する研究 中鉢 令兒	185
48. 観光まちづくりとその担い手の役割について 米原 亮三	189
49. 観光まちづくりの人材育成に関する研究 -首都大学東京の講義を事例として- 三浦 春菜・秋山 哲男・米原 亮三	193
50. レストランサービスの不満足が不満行動と転換意図に及ぼす影響 崔 圭 山巨	197
51. リピーターに着目した沖縄県の観光客の将来予測に関する研究 安達 寛朗	201
52. ホテル従業員の感情不調和の調整要因に関する研究 崔 綿珍・金 蘭正	205
53. ホテルにおける聴覚障害者への対応 丹治 朋子・野口 洋平	209

54. ホテル産業における戦略的志向性、新商品・サービス開発、 企業の成果の構造的関係 金 振 暁	213
55. 韓国ソウルにおける「街歩き観光」に関する一考察 秋山 綾	217
56. まちづくり型観光地の変化と課題 -観光産業と「場」の概念を中心に- 上田 恵美子	221
57. 旅行者ニーズに対応した現地の支援体制の改善に関する研究 -兵庫県但馬地域を例として- 小阪 昌裕・金井 萬造	225
58. 内容分析による観光研究の成果・現状・課題 -日本観光研究学会全国大会論文集を資料として- 韓 志 昊・臺 純子	229
59. 観光地における資源のリユース及び有効活用への 観光研究アーカイブコンテンツの方向性 -飯山シンポジウムを題材とした試み- 佐野 浩祥・北地 祐幸・熊谷 圭介・安島 博幸	233
60. コンベンションにおけるインターネットの役割と今後(セミナー/イベント含む) 長谷川 裕久	237

## 第5会場

61. 浅草における場所性の生成要因 余 京 珍	241
62. 隠れ家レストランの立地とデザイン 安島 博幸	245
63. 観光対象としての東京タワーのイメージ変遷 尹 榮玉・安島 博幸	249
64. 富士五湖におけるリゾートイメージの差異に関する研究 山本 清龍	253
65. 「たび」を意識した地域づくり -観光による地域活性化事例研究- 清水 慎一・小林 裕和	257
66. 観光都市「浜松」と観光行政 吉見 頼生	261
67. 観光都市を目指した地域文化による地域再生に関する研究 奥 正孝・高倉 美佐子	265

68. 地域文化を展示する -「岡山桃太郎王国記念館」の事例を中心に- 加原 奈穂子	269
69. 地域伝統祭事の観光対象としての限界 -「片貝まつり(新潟・小千谷)」の事例- 前田 勇	273
70. 首都圏の海水浴場利用者への史的考察 小長谷 悠紀	277
71. 海に関連する産業観光資源の魅力要素に関する研究 大友 洋卓・桜井 慎一	281
72. 観光客への情報媒体としての、美瑛町の農村景観資源対象の分布と その保全上の課題 岡田 稔・小林 昭裕	285
73. 食を介した国際ツーリズムの可能性に関する研究 曾 宇良	289
74. 観光地における魅力的な食の提供に向けた課題 堀木 美告・石山 千代・中島 泰	293

#### ポスターセッション(2006年5月27日(土)発表)

1. 持続可能な社会と持続可能な観光 九里 徳泰・小林 裕和	297
2. 留学生を訪問する旅行者の特性に関する考察 初 丹丹・村上 和夫	299
3. 観光研究教育アーカイブの構築 -立教大学アミューズメント・リサーチセンターにおける情報収集の 枠組みについて- 安島 博幸・北地 祐幸・村上 和夫・益田 誠也	301
4. 都市観光地における住民の意識 -代官山の聞き取り調査を元に- 米倉 紀子・橋本 俊哉	303
全国大会研究発表論文募集要項	305
日本観光研究学会ポスターセッション募集要項	307
全国大会研究発表論文集投稿規程	309